

## 平成28年度第1回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 平成28年7月8日（金）午後2時～午後3時40分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室
- 3 出席者
  - (1) 委員 鶴岡政彦委員長 浜口貞美委員 相田幸寿委員  
渡辺みどり委員 滝本はる恵委員 小茂田茂委員  
樋口美佐子委員 五十嵐恵委員 高津みどり委員
  - (2) 事務局 青木生涯学習推進課長 高橋図書館長  
橋本主査補 小林
- 4 傍聴者 なし
- 5 議題  
○市民の誰もが利用できる図書館運営に向けた取り組みについて
- 6 審議内容

委員長 まず、会議の議事録署名委員は、名簿順に小茂田委員と五十嵐委員  
にお願ひする。それでは、議題の「市民の誰もが利用できる図書館運  
営に向けた取り組み」について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見があればお願いしたい。

委員 資料の中に「利用者カードの年齢別の登録者数の推移」が掲載され  
ているが、市全体及び15歳以下の人口は、増加しているのか。

事務局 人口は、ほぼ横ばいの状況である。

委員長 利用者カードの年齢別登録者数が、「0～15歳」「16～59歳」  
「60～69歳」「70歳～」の括りとなっているが、どうしてこの  
ような括りにしているのか。

事務局 年齢別の利用形態等を踏まえての括りとなっている。

委員長 それでは、資料の2ページ目、「今後の取り組みについて」何かご  
意見、ご質問があればお願いしたい。

委員 提案であるが、ブックスタート事業で図書館の利用者カードの申  
し込みを受け付け、そこで小さい子ども向けの可愛いカードを発行  
するようにするとお母さん方の関心も高まるのではないか。

事務局 現在、図書館の利用者カードは一種類であるが、ご提案にあったカードの導入については、対象年齢の線引きをどのようにするのか、さらにカード導入以外の方法としてカードケースの作成も含めて検討していきたいと考えている。

また、鎌ケ谷市立図書館は、来年で現施設がオープンして30周年になることから、記念事業としてのアイデアがあればお願いしたい。

委員 図書館主催で作家を招いて講演会を開催してはどうか。

委員長 「今後の取り組みについて」に関してのご意見があればお願いしたい。

委員 鎌ケ谷市立図書館の現状のスペースとこれまでの図書館事業の取り組みからすると、現在の利用状況は上限にきているのではないかと。については、図書館の枠を広げるといった将来像のもとで、「こんな図書館を鎌ケ谷に作っていきたいね」といったイメージ作りに向かっていてはどうか。

委員長 先を見越して夢のある意見であるが、具体的にすぐ変わるような策はないか。

委員 将来を考えると、どこかでスタートをしていかないと先がないと思う。鎌ケ谷市の中にこういった文化的な施設がほしいと誰かが言い始めていかないと10年、20年先に形にならないと思う。初富駅周辺が高架事業の進展に伴い大きく変化することを考えると、そうした取り組みをしていないとチャンスがあった時に対応できないのではないかと。

事務局 これからの人口減少や既存の学校等の公共施設の改修計画を踏まえると、ご意見の水準に行きつくことは困難な状況である。

委員 初富駅周辺が変わる中で、図書館が複合施設の中に位置づけられることも考えられる。図書館の改築ではそうした構想を頭に置きながら、地元根差して誰もが利用しやすく背伸びをしたものではない「こんな図書館ができるといいね」といったイメージを語り合っていく必要が、今、あると思う。

委員長 ほかにご意見があればお願いしたい。

委員 これまでのご意見を伺うと、市全体でどのように方向付けしていくのか、そうした研究をどんどん進めていく必要がある。

委員 トップダウンの考え方もあるが、図書館協議会の委員としてこうした希望があるといった形で持っていければいいのではないかと。

委員長 この件については、継続案件とする。

委員 信州の小布施町では、喫茶店や花屋、民宿等に本が置かれていて、

町中に図書館が点在するような取組みを行っている。図書館にどうやって利用者呼び込むかということも一つだが、利用者が来るのを待つのではなく、出向いていくというやり方もあるのではないか。

委員長 図書館の駐車場の確保とともに、学校、学年単位で生徒による図書館探検を行ってもらって図書館をPRしていったらどうか。

事務局 学校単位で行っているまち探検では、公共施設の一つとして図書館にも来ていただいている。

委員 図書館員やボランティアの方が読み聞かせや楽しいイベントを行っているが、多くの方がそれに関心を持って来ているかというところと一部のリピーターという気もする。一方、図書館の利用に関しては、最近駐車場が新たに整備され、インターネットで貸出期間の延長ができるようになり便利になってきていると思う。

委員 各学校に鎌ヶ谷市立図書館の本を検索できる設備を整えていったらどうか。

事務局 検索設備を早急に整えることは難しいが、図書館として学校向けに500冊を3か月間、団体貸出をしているところである。

委員長 学校への団体貸出の利用状況は、どのようになっているのか。

事務局 貸出実績は、年々増えてきている。

委員 貸出実績が増えてきているのは、全校に学校司書が配置されたことが大きいと思う。学校の図書室で本に触れることで図書室がどういったところなのかを学び鎌ヶ谷市立図書館への来館に結びつけるなど、大人がもっと子供たちと本を結びつけるためにどのようにしていったらいいのか、あきらめないで考えていくことにより前に進んでいけると思う。

委員 学校において、子供たちが図書館に出向いて本を借りるような宿題を出していったらどうか。

委員 小学生の図書館利用に関する意見に集中してきているので、もう少し幅広い視野から理想的な図書館はどういうものか、図書館を多く利用する人が望む図書館とはどういうものか、そうしたことを基準において検討していく必要があるのではないか。

委員 図書館利用の拡大に向けた取組みに関する調査・研究の項目の中に、「図書館利用者アンケートの調査結果に基づくサービスの向上」とあるが、何か要望されていることはあるのか。

事務局 図書館本館にCD、DVD、聴覚資料がないことなどが挙げられる。

委員 図書館利用に障がいのある人に対する取組みに関する調査・研究の項目については、まず、障がい福祉課を通じて障がい者団体の方

がどういふことを望まれているのか意見を聞いて、検討プロジェクト等と一緒に支援策を作っていくしてほしい。

委員長 議案については、以上とする。

## 7 報告

○平成28年度先進館視察について

事務局より、視察候補先として「川崎市立中原図書館」を提案し、視察時期について10月中旬～下旬を提示する。

(質疑応答)

委員 一意見等、特になしー

委員長 川崎市立中原図書館を視察先とする。視察日時については、後日連絡することとする。

## 8 その他

委員長 それでは、「その他」ということで何かあればお願いしたい。

事務局 平成28年3月に実施した図書館利用者アンケートの調査結果は、次回の会議で報告させていただく予定であるが、アンケートにおける意見の概要については、事前に図書館に掲示する方法で公表させていただくことをご了承願いたい。

委員 平成27年3月に実施した調査結果と今回の調査結果には、相違があるのか。

事務局 調査では、質問項目を同一にして両調査の結果を比較できるようにしている。

委員 大型絵本は、一週間前までの貸出手続きが必要であるが、一週間前までに行わなければいけない理由はあるのか。

事務局 大型絵本を用意させていただく準備期間として、事前の貸出手続きをお願いしている。

委員 大型絵本を少しでも多く活用してもらえよう工夫をお願いしたい。

事務局 工夫する余地はあると思われるので、検討したい。

委員長 要望であるが、図書館協議会や図書館利用者アンケートにおいての意見に対する図書館の取り組みに関しては、もっとPRをしていただきたい。

それでは、以上をもって本日の図書館協議会を閉会とする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成28年 8月26日

署名人 小茂田 茂 印

署名人 五十嵐 恵 印